

【資料2】

令和6年度 保護者アンケート集計結果

4:よくあてはまる
 3:ややあてはまる
 2:あまりあてはまらない
 1:まったくあてはまらない

評価項目		全学年の評価割合					
		4	3	2	1	平均点	昨年度
1	学校は、教育目標や活動の様子をお便りや学級PTA、個別面談で知らせている。	52.1	44.6	1.7	1.0	3.5	3.5
2	学校は、授業を工夫し、学力向上に努めている。	45.4	46.9	1.6	0.6	3.5	3.4
3	学校は、道徳の時間などの学習をとおして、心の教育に努めている。	41.3	47.7	2.6	0.4	3.4	3.4
4	学校は、けがや交通事故防止、不審者対策などの安全指導に努めている。	38.5	49.3	3.0	0.6	3.4	3.4
5	学校は、校舎内外の環境整備に努めている。	36.8	50.6	3.7	0.4	3.4	3.4
6	学校は、児童や親の連絡・相談に適切に対応している。	49.6	43.7	3.4	1.4	3.4	3.4
7	学校は担任だけでなく、職員全体で子供に寄り添う指導に努めている。	34.8	48.0	4.1	0.9	3.3	3.4
8	お子さんは、早寝早起きに努めている。	29.9	50.6	17.5	2.4	3.1	3.0
9	お子さんは、ごはんを毎食しっかり摂っている。	64.4	32.3	3.4	0.3	3.6	3.6
10	お子さんは、元気に登校している。	65.4	31.1	2.9	1.1	3.6	3.6
11	お子さんは、学校が楽しそうである。	55.8	39.0	3.3	1.3	3.5	3.5
12	お子さんは、進んで家族や地域の人にあいさつをしている。	20.9	57.3	16.8	2.6	3.0	2.9
13	お子さんは、家庭学習に取り組んでいる。	29.1	59.8	8.6	3.0	3.1	3.1
14	お子さんは、家庭で読書をしている。	20.7	32.1	32.5	15.1	2.6	2.6
15	お子さんは、家庭で決めた約束を守ってメディアコントロールに取り組んでいる。	16.7	44.0	27.8	11.3	2.7	2.6

※ 合計が100%とならないのは、保護者用アンケートのそれぞれの選択肢に「0. わからない」があるため。

考察
<p>・ほぼ全項目で、昨年度と同等、もしくは上回る評価となった中、「職員全体で子供に寄り添う指導に努めている」項目で昨年度を0.1P下回る評価となった。子供たちの指導や保護者の相談に対して複数の職員で組織的に対応することを継続するとともに、改善の余地を見だし、今後も更なる徹底を目指していく。</p>
<p>・「10 元気に登校」「11 学校が楽しそう」の項目については、100%の肯定的評価を目指さなければならないものであることから、原因を精査し、相談員やSCとの連携を更に強化し改善を図りたい。また、全ての子供にとって「できた」「わかった」を実感できるような授業を目指していく。</p>
<p>・「12 進んで家族や地域の人へあいさつをしている」の項目については、児童アンケート同様、昨年度より0.1P上回る評価となった。コロナ禍と比較して、子供たちと大人たちとの交流が増えてきたこと、ここ数年の重点指導項目に加え、今年度は職員自身が率先垂範の意識で挨拶に取り組んだり、挨拶できていることに対して「褒める・認める」評価を継続したりしている成果だと感じる。ただ、平均点としては、まだ伸びしろがある数値であるため、今後も職員全体で指導事項を共有し、更なる改善を目指していく。</p>
<p>・「早寝・早起き」「家庭学習」「家庭での読書」「メディアコントロールの取組」については、昨年度と同等、もしくは0.1P上回る評価となった。少しずつ家庭の協力が成果として表出している。家庭教育に委ねる部分は、現状を学校・家庭の双方で受け止め、子供たちの成長のために学校では何をどこまでできるかを検討し、家庭とのよりよい連携の図り方について模索していく。</p>